



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岩本 順司 (TEL) 052-963-7501  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	323,536	△6.5	17,631	0.2	18,326	△0.8	10,888	65.9
28年3月期第3四半期	345,953	△4.2	17,595	25.1	18,466	13.0	6,564	△29.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 17,743百万円(345.7%) 28年3月期第3四半期 3,980百万円(△77.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	25.68	—
28年3月期第3四半期	15.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	545,882	278,975	45.6
28年3月期	535,675	268,345	43.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 248,890百万円 28年3月期 232,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	△5.6	21,000	△14.0	21,000	△16.4	13,500	100.1	31.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	434,487,693株	28年3月期	434,487,693株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	7,394,504株	28年3月期	7,473,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	423,967,141株	28年3月期3Q	433,247,615株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の継続を背景に個人消費が持ち直しつつあり、企業に関しても鉱工業生産に回復の動きがみられるなど、緩やかな回復基調となりました。海外では、米国が雇用拡大を背景に緩やかな景気拡大を続けてきましたが、昨年11月の大統領選でトランプ大統領が勝利してからは減税・インフラ投資の増加等による米国経済への期待が高まり、世界同時株高・ドル高をもたらしました。中国は政府の景気対策を背景に、自動車販売台数が大きく伸びるなど、比較的安定した成長となりました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車産業に関しましては、北米・中国での販売好調を受け堅調に推移しました。当社の主要原材料である鉄スクラップは、中国ビレット価格の影響を受け春先に急騰・急落したあと、比較的安定的に推移していましたが、原料炭価格の上昇を受け11月以降上昇しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、数量面では自動車向けを中心に増加しましたが、原材料価格の動きに連動する販売価格の低下等から、前年同期比224億16百万円減収の3,235億36百万円となりました。経常利益につきましては、退職給付費用等固定費の増加がありましたが、数量増加やエネルギーコストの低下等が寄与し、前年同期比1億39百万円減益の183億26百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に計上したソフトウェア開発中止に伴う損失がなくなったことから前年同期比43億24百万円増益の108億88百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う在庫調整の影響等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、11月までは比較的低位安定で推移したことから前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比6.9%減少の1,189億9百万円、営業利益は前年同期比4億18百万円減益の44億58百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス製品は、自動車、半導体向けが堅調で、数量は前年同期比で増加しました。また、原材料であるニッケル価格の下落に伴い、販売価格は低下しました。高合金製品は自動車関連需要が増加したことから、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、EPS（電動パワーステアリング）向けを中心に数量が増加しました。粉末製品は海外自動車向けの需要が回復し、数量が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、前年同期比8.2%減少の1,087億94百万円、営業利益は前年同期比31億29百万円増益の124億18百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、原油価格の低迷を背景にオイル&ガス関連の需要が減少していることから、売上高は前年同期比で減少しました。型鍛造品は、鉄スクラップ価格等の下落に伴う販売価格の低下等により売上高は前年同期比で減少しました。エンジンバルブ部品は、北米自動車販売が好調を維持し、売上高は前年同期比で横ばいとなりました。精密鍛造品は、ターボ関連製品の需要拡大基調が継続し、数量は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比4.4%減少の708億75百万円、営業損益は前年同期比21億11百万円減益の11億7百万円の損失となりました。

#### ④エンジニアリング

一部製品の海外向け売上は好調であったものの、全体としては売上案件が減少し、当第3四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は前年同期比13.4%減少の163億29百万円、営業利益は前年同期比9億4百万円減益の5億91百万円となりました。

#### ⑤流通・サービス

大同特殊鋼（上海）有限公司を新たに連結したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比26.9%増加の86億27百万円、営業利益は前年同期比3億33百万円増益の12億66百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ102億6百万円増加し5,458億82百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「投資有価証券」の増加110億77百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ106億30百万円増加し2,789億75百万円となりました。純資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加87億42百万円…主として親会社株主に帰属する四半期純利益108億88百万円の計上による増加。

- ・「その他有価証券評価差額金」の増加65億58百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.6%となり、前期末と比べ2.1ポイント上昇しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、米国をはじめ先進国は雇用環境の堅調さから底堅く推移すると見られているものの、米国新政権の動きや英国のEU離脱問題などから先行きの不透明感が高まっています。特殊鋼の需要につきましては、主要需要先である自動車産業が堅調に成長していくことが期待されているものの、原油価格の低迷を背景とした石油掘削関連等の需要が低迷しており、今後の動きを注視する必要があります。当社グループに影響を与えるリスク要因としては、為替変動に伴う需要の減少リスク、資源価格・原材料価格の変動リスク、地政学的リスクなどがあると認識しております。

このような経営環境の中、当社グループは、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化に即応してまいります。また、中期経営計画で目標とした海外売上高の拡大に向けての施策を着実に実施し、お客様との共創、成長領域への注力、QCD（品質、コスト、納期対応力）競争力の強化を進めてまいります。

当期の連結業績につきましては、前回（平成28年10月31日）公表した業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,887	38,339
受取手形及び売掛金	93,689	86,207
電子記録債権	5,110	7,974
たな卸資産	95,131	94,604
その他	9,788	9,044
貸倒引当金	△139	△211
流動資産合計	238,467	235,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,638	68,503
機械装置及び運搬具(純額)	75,634	79,162
その他(純額)	49,505	43,209
有形固定資産合計	188,778	190,875
無形固定資産		
のれん	62	23
その他	2,520	2,271
無形固定資産合計	2,583	2,295
投資その他の資産		
投資有価証券	71,407	82,484
退職給付に係る資産	26,239	26,654
その他	8,320	7,730
貸倒引当金	△120	△117
投資その他の資産合計	105,846	116,752
固定資産合計	297,208	309,922
資産合計	535,675	545,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,254	43,743
電子記録債務	8,898	25,592
短期借入金	32,836	39,604
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	2,752	1,968
賞与引当金	6,699	2,857
環境対策引当金	1	1,021
その他の引当金	583	520
その他	22,460	21,372
流動負債合計	143,486	146,680
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	81,849	76,885
環境対策引当金	5,720	3,419
その他の引当金	909	785
退職給付に係る負債	8,998	9,315
その他	16,364	19,820
固定負債合計	123,843	120,225
負債合計	267,329	266,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,722	29,851
利益剰余金	155,250	163,993
自己株式	△3,560	△3,256
株主資本合計	217,585	227,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,826	20,384
繰延ヘッジ損益	0	△2
土地再評価差額金	1,820	1,820
為替換算調整勘定	2,044	△182
退職給付に係る調整累計額	△2,443	△889
その他の包括利益累計額合計	15,247	21,129
非支配株主持分	35,513	30,085
純資産合計	268,345	278,975
負債純資産合計	535,675	545,882



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	345,953	323,536
売上原価	290,825	266,770
売上総利益	55,127	56,766
販売費及び一般管理費	37,532	39,135
営業利益	17,595	17,631
営業外収益		
受取利息	116	116
受取配当金	1,729	1,369
持分法による投資利益	620	552
その他	1,728	1,230
営業外収益合計	4,195	3,269
営業外費用		
支払利息	1,010	741
環境対策引当金繰入額	952	614
固定資産除却損	586	353
為替差損	101	228
その他	673	635
営業外費用合計	3,324	2,573
経常利益	18,466	18,326
特別利益		
固定資産売却益	—	420
投資有価証券売却益	1,232	112
特別利益合計	1,232	533
特別損失		
減損損失	431	372
ソフトウェア開発中止に伴う損失	5,579	—
その他	157	73
特別損失合計	6,169	445
税金等調整前四半期純利益	13,528	18,414
法人税、住民税及び事業税	4,233	4,650
法人税等調整額	750	1,445
法人税等合計	4,984	6,096
四半期純利益	8,544	12,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,980	1,429
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,564	10,888

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	8,544	12,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,348	6,500
繰延ヘッジ損益	△1	△4
為替換算調整勘定	△1,336	△2,715
退職給付に係る調整額	△839	1,611
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	32
その他の包括利益合計	△4,564	5,424
四半期包括利益	3,980	17,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,341	16,632
非支配株主に係る四半期包括利益	1,639	1,110

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	127,728	118,450	74,121	18,855	6,797	345,953	—	345,953
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	62,711	13,096	24,338	1,915	7,824	109,885	△109,885	—
計	190,440	131,546	98,459	20,771	14,621	455,838	△109,885	345,953
セグメント利益	4,877	9,289	1,004	1,495	932	17,598	△3	17,595

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	118,909	108,794	70,875	16,329	8,627	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,006	11,029	16,687	1,241	8,704	85,670	△85,670	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	17,332	409,207	△85,670	323,536
セグメント利益 又は損失(△)	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足説明資料

## (1) 当第3四半期のセグメント別連結売上高

(単位：百万円、%)

	28年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	118,909	-8,818	-6.9
機能材料・磁性材料	108,794	-9,655	-8.2
自動車・産業機械部品	70,875	-3,245	-4.4
エンジニアリング	16,329	-2,526	-13.4
流通・サービス	8,627	1,830	26.9
計	323,536	-22,416	-6.5

## (2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	28年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	323,536	-22,416	-6.5
営業利益	17,631	35	0.2
営業外収益	3,269	-926	-
営業外費用	2,573	-750	-
経常利益	18,326	-139	-0.8
特別利益	533	-698	-
特別損失	445	-5,723	-
税引前純利益	18,414	4,885	-
法人税等	6,096	1,112	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,429	-550	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,888	4,324	65.9

## (3) 当第3四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	180	1. 販売価格下落	153
2. 販売数量増加	23	2. 固定費の増加	36
3. 変動費改善	13	3. 内容構成差他	27
		4. 営業外損益	2
計(a)	216	計(b)	218
		差引(a) - (b)	-2

(参考：原料市況)

	27年12月 第3四半期	28年12月 第3四半期
H2建値 (千円/t)	16.5	16.5
ニッケル(LME) (\$/1b)	5.0	4.5
モリブデン(MD) (\$/1b)	6.0	6.9

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 28年3月末	当第3四半期 28年12月末	増減	科目	前期 28年3月末	当第3四半期 28年12月末	増減
流動資産	238,467	235,960	-2,507	負債	267,329	266,906	-423
現金	34,887	38,339	3,452	営業債務	68,152	69,335	1,182
営業債権	98,800	94,182	-4,617	有利子負債	136,114	137,790	1,675
たな卸資産	95,131	94,604	-526	その他	63,062	59,780	-3,282
その他	9,648	8,833	-815				
固定資産	297,208	309,922	12,714	純資産	268,345	278,975	10,630
有形固定資産	188,778	190,875	2,097	株主資本	217,585	227,760	10,175
無形固定資産	2,583	2,295	-288	その他の包括利益 累計額	15,247	21,129	5,882
投資その他の資産	105,846	116,752	10,905	非支配株主持分	35,513	30,085	-5,427
資産合計	535,675	545,882	10,206	負債純資産合計	535,675	545,882	10,206